

論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称	博 士 (学 術)	氏名	SIDDIQUEE MUHAMMAD	
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		NUR-E-ALAM	
論 文 題 目				
Exploring Beliefs on Teaching-Learning and Actual Practices: A Case of Secondary School Science Teachers in Bangladesh				
論文審査担当者				
主 査	広島大学大学院国際協力研究科	教授	池田 秀雄	印
審査委員	広島大学大学院国際協力研究科	教授	馬場 卓也	
審査委員	広島大学大学院国際協力研究科	教授	清水 欽也	
審査委員	広島大学大学院国際協力研究科	教授	林 武広	
審査委員	岡山大学大学院教育学研究科	教授	喜多 雅一	
〔論文審査の要旨〕				
<p>バングラデシュの中等理科教師の持つ信念と、各教師が実際に行っている理科授業の分析を行った。論文は、第1章序論、第2章先行研究分析および研究枠組み、第3章研究方法、第4章結果、第5章考察、第6章結論からなる。</p> <p>バングラデシュの中等理科教員の持っている教授-学習に対する信念と、その教員が実際に行う教育実践との関連性を分析した。途上国の理科教育改善において、教員の資質向上が重視されるが、具体的にどのような問題を改善すべきか、また実際の授業実践でどのような問題を孕んでいるかについての詳細な分析的研究はみあたらない。そこで、理科教師の信念に関する質問紙・インタビュー調査や、授業のビデオ記録分析を実施した。OECD(2009)による教師の信念に関する調査と同様の方法で、バングラデシュの253名の中等理科教員に質問紙調査を実施したところ、教授方略、教師の役割に関しては多くの国と同じように現代的信念を持つが、生徒の役割、学習環境、カリキュラムに関しては従来の伝統的信念を持つことを明らかにした。また、13名について信念に関するインタビュー調査を実施しその回答を分析したところ、各教師は、現代的信念、伝統的信念、および後者から前者に移行しつつある信念の3グループに分けられた。さらに、この13名の教師による実際の授業をVTR記録し、Flanders(1970)やChin(2006)が開発した方法などで分析したところ、13人の調査した教師いずれも知識伝達が多いが、現代的信念を持つグループの教師は、生徒の高次な思考や概念変容を促す働きかけも行っていることを明らかにした。この教師の信念変化は、教員経験や教員研修によってもたらされたものと推測した。</p> <p>本研究は、バングラデシュの中等理科教員が持っている信念に関して調査し、各教員が持つ信念と教育実践との相関を解明し、開発途上国の理科の実体を明らかにした。理科教員の持つ信念を類型化した点、およびその類型と実際の授業分析結果を対比して解析した点でオリジナリティーが認められ、その研究内容は博士の学位取得水準を凌駕しているものと判断した。なお本論文の主要内容は学術論文4編(査読付)として公表済みであることを確認した。以上、審査の結果、本論文の著者は博士(学術)の学位を授与されるに十分な資質があるものと認められる。</p>				